

ニュージーランド –政策金利の据え置きが続く–

＜政策金利据え置き＞

1月29日、ニュージーランド準備銀行（以下、RBNZ）は政策金利を3.50%に据え置くことを決定しました。声明文は前回（12月）と比較してハト派トーンとなりました。

RBNZは景気の先行きについて慎重な見方であることや、原油価格の下落などを背景に2015年中、インフレ率は物価目標の下限を下回るという見通しを示しました。今後の政策金利についてRBNZはしばらく据え置く姿勢を維持する一方、今後の経済データ次第で次の政策金利の調整は利上げも利下げもありうることを示しており、これまでの利上げに向けた姿勢から後退したと言えます。

＜NZドルの推移＞

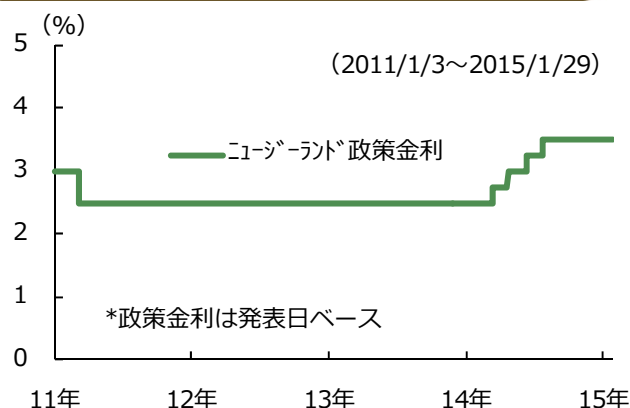
NZドルは軟調な地合いが続いています。ニュージーランドの2014年10-12月の消費者物価はRBNZの政策目標の下限やRBNZが12月に示した見通しを下回りました。また、ECB（欧州中央銀行）が量的緩和を決定したことなどから世界的に金融緩和期待が膨らみました。これらを背景としてニュージーランドでも利上げ観測が後退、NZドルは対米ドル、対円でともに軟調に推移しました。

今回の声明文を受けてNZドルは更に下落し、対米ドルでは2011年3月以来の水準まで下落しました。29日東京時間午前9時現在、1NZドル=0.732米ドル、1NZドル=86.16円となっています。

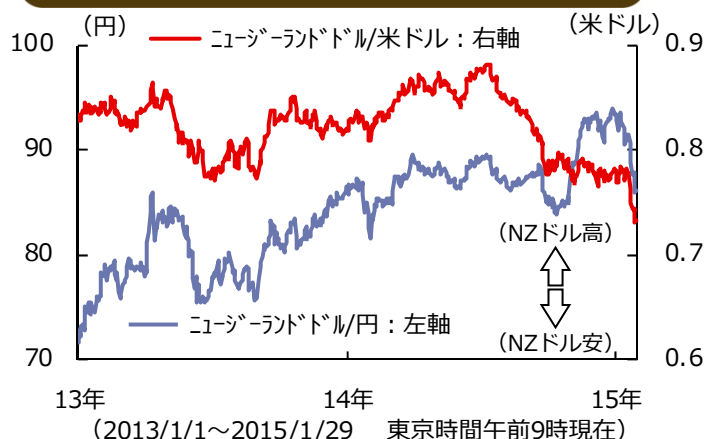
＜為替見通し＞

利上げ観測の後退などを背景としてNZドルは目先は軟調な推移が見込まれます。ただし、ニュージーランド景気は今後も力強い推移を続けていくことが予想され、時間の経過とともに市場では利上げの可能性が再び意識されていくと考えられます。また、相対的に金利水準が高いことでNZドルが選好されやすい状況は続く見込みで、中長期的にはNZドルの底堅い推移が期待されます。

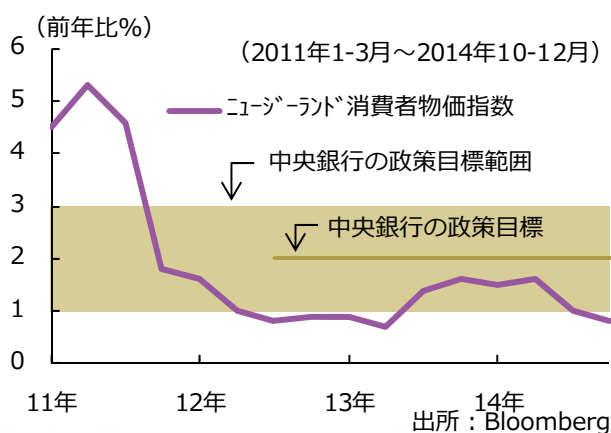
＜政策金利の推移＞



＜NZドル為替の推移＞



＜インフレ率の推移＞



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会